

学校評価の分析と課題及びその改善策

1 学校教育目標

分析	<ul style="list-style-type: none"> 1 学校教育目標の具現化を意識した教科・領域における指導の充実を図る必要がある。 2 学校教育目標が保護者にはなかなか浸透していない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 1 学校教育目標を意識した教育活動を図ること。 2 保護者に学校教育目標を周知するとともに浸透させる。学校教育目標を踏まえたうえで、教育活動の必要な協力を依頼する。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 1-(1) 学校教育目標と教育活動の「ねらい」を連鎖させる。 1-(2) その手立てを工夫し、指導計画に反映させる。 1-(3) PDCAサイクルを確実に実践し、次年度の計画を立案する。 2-(1) 年度当初の保護者会において、周知を図る。 2-(2) 学期末、学年末の保護者会において、学校教育目標を踏まえて、生徒の成長や課題を共有する。 2-(3) 「〇〇だより」を用いて、学校教育目標を周知、浸透させるように工夫する。

2 学級・学年経営

分析	<ul style="list-style-type: none"> 1 仕事の偏りが多い。 2 リーダーになる生徒に任せきり、頼り過ぎの生徒がいる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 1 平等な仕事分担ができるようにしてほしい。 2 大リーダーでなくても、係や当番など、小さいリーダーとして多くの生徒に任せてみる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 1 仕事の方よりは、一つひとつの仕事に多少の格差はあると思うが、『それぞれの自覚で、任された仕事を確実に責任をもってこなす』しかないと思う。 2 改善策にあるように、たて構図でクラス経営をしていく。 大リーダー⇒中リーダー⇒小リーダー

3 生徒指導

分析	<p>(7)について＝「2」「1」の評価が他の項目よりも多かった。うまく機能していないと思う方は、どうするか機能するか考え協力してまいりましょう。</p> <p>(8)について＝高い評価を得られている。日ごろの我々の成果だと思う。満足せずにせいで関わっていきましょう。</p> <p>(9)について＝概ね満足いく結果だと思う。ただ、いろいろな価値観の保護者と協力していかないと、生徒の健全育成は難しい。保護者の言い分を理解しつつ、アドバイスしていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 教師自身が決まりを守れていない。 2 学年によって異なっているように感じる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 1 まず、教師が自覚を持つ。 2 教員間の会話を増やす。納め会などは極力全員が参加してコミュニケーションを図る。

改善策	<p>1 書いた方がどの場面でそう感じたかわからないが、「時間を守れ」と言っている人が、守っていなかったら、生徒の信頼を失うのは当たり前である。すべてとは言わないが、生徒にさせていることは、我々も実践しましょう。また、「チーム東中職員」として、気づいたときはお互いに声をかけ合える関係を築きましょう。</p> <p>2 異なっているように感じている内容は、生徒への対応の仕方でしょうか？それとも雰囲気でしょうか？生徒への対応の仕方なら、そう感じて自然だと思います。なぜなら、その学年を構成している方々の年齢や教職経験年数、価値観によって生徒への対応の仕方も違って来るからです。でも、その違いが生徒にマイナスになってはいけません。対応の仕方は「生徒のためになるかならないか」、また、「自分の妹・弟・息子・娘だったらどうするか」で考えればよいと思います。学年職員の雰囲気なら、雰囲気がよくなるため、何ができるか考えましょう。また、職員全員が「チーム東中」の一員として何ができるか考えることが大切だと思います。</p>
-----	--

4 教育相談

分析	1 相談員、スクールカウンセラーの活用について、もっと活発に活用できる手立てを考えていきたい。
課題	<p>1 相談員、スクールカウンセラーの活用が十分でない。</p> <p>2 アンケートの活用が十分でない。</p> <p>3 相談部会の内容について、報告だけで、解決策などが出ない場合がある。</p>
改善策	<p>1 相談部会において協議を行う。</p> <p>2 アンケートの後の取り扱いについては、迅速に対応、共通理解を図るため、日時・対応の仕方を学校全体で統一し行う。</p> <p>3 相談部会前に各学年で現状を踏まえ、今後について提案を考える。部会で方向性を協議する。</p>

5 校内研修

分析	1 今年度は「道徳」の市の委嘱を受けた研修だったので、内容がはっきりしていて、適切だったのではないかな。
課題	<p>1 計画が見通せないことがある。</p> <p>2 生徒間のトラブルもあるので、その研修もしていく。</p> <p>3 来年度以降の研修主題をしっかりと吟味していくことが難しい。</p>
改善策	<p>1 前年度よりは回数が増え、学校での取り組みができています。</p> <p>2 事例研修を多くすべき。</p> <p>3 校内研修推進委員会を定期的に。</p>

6 人権教育

分析	<p>1 予想通りの結果であると感じました。</p> <p>2 もっと評価が低いと思っていました。</p>
課題	1 人権に対する学校全体の取り組みが少ない。また、行っていない。

改善策	<p>1 校内研修などで人権に関する取り組みを行っていく。</p> <p>2 人権週間などに、人権作文などに入選した作品を先生や生徒に配付していく。</p>
-----	--

7 学習指導

分析	<p>1 授業規律に関する評価は高く、全体的に落ち着いた授業ができていることが伺える。</p> <p>2 学力向上のため、基礎・基本の定着をはかる取り組みに関しては高い評価であるものの、「生徒主導の活動」に関しては、評価が低い。また、生徒活動の場面が少ないという意見もある。よって、次年度に向けて授業スタイルの見直しが必要であるように感じる。</p>
課題	<p>1 生徒主導の活動が不足している。</p> <p>2 前項の質（グループワーク・ディスカッション等）を高めるため、基礎・基本のさらなる定着が必要。</p> <p>3 今後、アクティブラーニング型授業を作っていくことが求められる。</p>
改善策	<p>1 基礎・基本の定着を図るため、日々教材研究に努める。</p> <p>2 時間数が限られているなかで、生徒主導の活動を取り入れていくために、ICTの活用、課題解決学習、協同学習やジグソー法などを積極的に各教員が研修する必要がある。</p> <p>3 各教科部会で、単元や進行に合わせて、講義型とアクティブラーニング型の授業の効果的な組合せを考え、授業改善をしていく。</p>

8 進路指導

分析	<p>1 「3年間を見通した」が3.0でやや低い評価である。進路指導・キャリア教育として、3 days(1年生)・上級学校訪問(2年生)・出前授業(3年生)を実施し、3年間を見通して指導にあたっている。</p> <p>2 組織的・継続的なキャリア教育については、学年内、学年完で組織的に取り組んでいる。実施方法、実施内容等については、全学年からの助言を参考に、よりよい取り組みになるよう努めている。</p> <p>3 保護者への情報提供について、体験かつどうについてのねらい・実施内容、事後指導、生徒の変容等については、学年だよりを通して情報提供している。進路については、「進路だより」「進路学習会」等を通して情報提供している。</p>
課題	<p>1 3年間を見通した指導の一環としての体験学習の位置づけが教員全員に浸透していない。</p> <p>2 組織的・継続的な取り組み、保護者への情報提供について、教員間での共通理解がやや不十分であった。</p>
改善策	<p>1 3年間の指導計画として</p> <p>(1)各学年のねらい (2) 体験活動の位置づけ (3) 3年間の指導の流れ</p> <p>以上について、教員間で共通理解できる場を設定する。(研修会等)</p>

9 道徳教育

分析	1 本年度は学校全体でよく取り組んでいた。 2 各学年ごとの研修を行い、授業に挑むことができた。
課題	3 来年度へ。さらに「東中スタイル」を確立するために次のことを行う。 (1) 一斉道徳授業の実施（道徳オリエンテーションの実施） 全校で行うモデル授業。4月17日（月）に設定。 教員：進行役・板書役 生徒役：学級委員や生徒会本部役員など (2) 行事と道徳教育のねらいをリンクさせる。各行事でねらう「内容項目」を設定する。 それによって、実践行動に生きて働くことを期待したい。
改善策	① 1年生 スキー教室・職場体験・地域に学ぶ ② 2年生 校外行事・上級学校訪問・福祉体験活動 ③ 3年生 修学旅行 ④ 全校 クリーンパトロール 検討委員会協議結果:同一時間に「道徳」の授業を設定するのは、時間割編成の物理的操作が可能な範囲で行うこととします。あくまでも、教科の授業優先で時間割を設定し、学年単位で同一曜日等になる配慮はしますが、必ず同一時間帯に設定できるとは限らないことを確認します。

10 特別活動（学級活動）

分析	1 掲示物の充実に対する評価がやや低い。
課題	1 廊下の掲示を増やす
改善策	1-(1) 各委員会の取り組みを掲示物として周知する。 1-(2) 生徒の活躍部分を掲示する。行事の写真を掲示する。 ＝学年内に学年掲示に関する担当を明確にする。 検討委員会協議結果:個人に負担がかかる可能性があるので、現状のまま、必要に応じて掲示する。 1-(3) 学年統一の掲示レイアウト図の例を作成する。

11 特別活動（生徒会活動）

分析	1 自主的・意欲的な活動をより多くしたい。
課題	1 委員会活動等、生徒による活動を多くしていくべき。（当番活動化している。） 2 行事担当者のみ活動が多く、うまく引継ぎがされていない。
改善策	1 担当者中心に、自主的・自発的な取り組みを考え、負担になりすぎないように実践してもらおう。 2 各行事ごと、担当者中心に会議を行い、仕事の分担を担っていく。各学年の生徒会担当者を2名ずつにし、学年による生徒会活動も活性化していく。 検討委員会協議結果:現在も、本部と中央委員(学級委員担当)の2名です。 3 行事の精選をしていきたいところですが、生徒会担当者だけでは決めきれない。

12 部活動

分析	1 完全下校後に下校する生徒は顧問が見届けるべきである。
課題	1 下校時刻の厳守。
改善策	1 余裕をもって活動を終えるようにする。 2 部長会で話題にする。 3 顧問による追い出しをする。

13 保健指導

分析	1 NO. 38「日々の健康観察」の評価は高く、担任の指導もあり、健康観察の提出、出席黒板の記入がほぼできていた。 2 NO. 39「保健室の利用」はおおむね評価がよかった。 3 NO. 40「健康診断の事後指導」もおおむね評価がよかった。
課題	1 出席規黒板の記入を忘れることがあった。 2 体調不良の生徒の状況を見て判断しているが、保護者から休ませてほしいという生徒がいた。 3 健康診断の事後指導の仕方
改善策	1 学年内で、健康観察未提出、出席黒板未記入クラスがあれば、声をかけ合い協力させる。 2 担任と連携し、生徒の様々な背景も考慮し、状況により判断していく。 3-(1) 結果に所見のあった生徒には、速やかにお知らせを出す。 3-(2) これまで通り、配慮を要する生徒については、全教員に知らせるとともに、特に担任や教科担当にはよく目を通してもらう。

14 学校安全

分析	1 そもそも分掌を割り振る過程が不透明で、分掌の継続性も考慮されていない。そのような状態であるから、安全担当初年度として、「42 交通安全指導」「43 施設・設備の安全」についての評価が低いのは仕方のないことと捉えている。教員も生徒と同じく育てるという観点で、人事や分掌の振り分けを進めてほしい。ただ、結果だけは受け止め、次年度に生かしていきたい。
課題	1 安全点検について、実施できなかった。 2 眼鏡橋が象徴するように、安全な通行について考えるべき場所がある。
改善策	次年度担当者への引継ぎを行ったうえで、 1 安全点検を実施する。 2 眼鏡橋については交通ルールを設定し、ルールを遵守させる。 3 その他の場所については適宜対応していく。 以上より生徒の安全意識向上を目指す。

15 給食・食育

課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 食に関する情報がもっとあったほうがよい。 2 完食指導の意図はわかりますが、「全員がすべてたべなければいけない」のような感が理解できない。
改善策	<ol style="list-style-type: none"> 1 給食委員に給食で出る郷土料理を紹介する掲示物を作成させる。来年度は毎月19日の食育の日に郷土料理が出ることになっているので、それに合わせて作成させる。また、昼の放送でも給食委員が郷土料理を紹介する。 2 成長に必要な栄養素を摂る、作った人や食べ物への感謝の気持ちを伝える、という意味で残さず食べるスタンスを続けてもらえたらと思う。残菜を減らしていくなかで、完食につながれたらよい。

16 ボランティア・福祉教育

分析	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティアそのものの認識が低い。
課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 認識を高める。
改善策	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒会の取り組みであるクリーンパトロールが定着してきている。そこに、地域やPTAも関わってもらえる方向性がとれるといい。 2 彩の国ボランティアなどについて、もっと啓発する。掲示物などを増やしていく。

17 清掃・環境教育

分析	<ol style="list-style-type: none"> 1 美化委員を筆頭に多くの生徒が取り組んでいると思う。大掃除のときなども細かいところまで一生懸命取り組んでいる生徒が多い。確かに一部の少数の生徒はいるとは思いますが、同じ清掃場所の仲間から声をかけることもできていると思う。 2 短時間しかない中で、できうることをよくやっている生徒が多い。各清掃監督の教員、担任の先生もしっかりと指導していると思う。また、美化委員も上級生からのレクチャーがしっかりと定着できている。清掃用具も十分に足りているはずである。 3 帰りの日直清掃も美化委員を中心によく取り組んでいる。
課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 全員が真剣に清掃活動に取り組めるようにする。(校内清掃において、ただやるだけになっている生徒がいる。清掃時間が短いので、その中でもっと意識をもって清掃するよう指導すべき。) 2 清掃点検簿、美化点検簿の活用。
改善策	<ol style="list-style-type: none"> 1 美化委員による啓蒙活動の活発化 (ポスター作成・標語作成等。ただし、掲示が制限させるため、使用は考慮が必要) 2 清掃点検簿の一層の活用。 3 学級担任の指導力向上。 4 清掃監督者の意識改善。 5 清掃点検簿にある清掃マニュアルを確認する。(生徒と教員) 6 美化委員からのレクチャーを更に強化する。 7 きれいにすることと汚さないことへの指導、啓蒙活動等を、美化委員を通じて強化していく。

18 家庭・地域との連携

分析	1 全体的に平均を下回った。(特に地域の行事・小学校との連携) 2 現状を見れば理解できる。人材活用はもっと高いと思ったが……。
課題	1 本年度の重点・努力点のひとつ「保護者や地域等との連携を深め、信頼される学校づくりの推進」を達成するために、先の(上記の)2点は改善さえなければならない。 2 部活動により、土日の参加は難しい。
改善策	1 学校全体で参加などを考える。 2 保護者が来校してきたときに「来てよかった」と思える保護者会、行事に。 3 地域の行事をできるかぎり年間行事計画に盛り込み、予定が立てられるようにする。 4 長期休業中の各小学校での中学校・先生をもっとPRする。 5 小中教務主任会を開き、お互いの出前授業開催を検討する。

19 取り組むべき内容・その他

分析	1 「文武両道」「教員が仲よく」が印象強い。
課題	1 「学力向上」=だれでもお互いに言い合える、相談し合える「風通しの良い職場環境、職場仲間」
改善策	1 基礎学力の定着=全校的な漢字コンテスト、スペリングコンテスト、計算コンテストの全校的な取り組み。 検討委員会協議結果:現在各教科で実施しているものを大切に、それらを核に取り組む。 2 各教科での生徒主導的学習(アクティブラーニング)研究。 3 いつでもだれでも相互授業参観(短時間でOK)。 4 困ったらすぐに相談。困ったら話しかけ。

20 東中の特色

<ul style="list-style-type: none"> ○ 静(授業)と動(部活動や生徒会活動)を区別して、それぞれに活発にやる。 ○ 素直で明るく、文武両道に向けて努力する生徒が多い。 ○ 文武両道、地域とともに学ぶ学校。 ○ 文武両道 ○ 健全な恵まれた環境の下で、生徒達が文化的・体育的活動で伸び伸びと力を伸ばす。 ○ 地域・外部への開かれた学校づくり(HP) ○ 挨拶がよくできる。食育の大切さをしっかり伝えられる。 ○ 給食を残さず食べる。 ○ 整えられた環境。 ○ 充実した設備。 ○ きれいな校舎、盛んな部活。 ○ 部活動が盛んな学校。 ○ 人材が多彩。 ○ 独自性を出す必要はない。
--

21 取り組むべき内容

<学習指導と体験活動>

- 学力向上。
- 学力の向上（授業時数だけでなく、内容もレベルアップ）
- 生徒のよりよい将来に向けて諸活動をする事。
- いろいろな体験を通して生徒を育てることを継続していく。

<生徒指導>

- 清掃。
- 学校の荒れ始めに気づいたときに、全教職員が適切に動けるようなガイドライン作り。
- 生徒指導における共通理解・情報共有。
- 生徒指導の一貫性。全教職員参加の飲コミュニケーション。

<安全指導・食育>

- 下校指導に顧問全員が出るように努力する。
- 交通ルールなどの安全面。
- 給食を残さず食べることにより、個々のバランスの取れた栄養摂取と給食に携わる人々への感謝の気持ちを持って、食べるようにつながっている。

<学校行事>

- 行事が多いので精査してほしい。学活の時間がない。
- 表彰朝会について。登壇させないで少しでも時間短縮。
(例：文化的な表彰は市の金賞以上／体育的な活動は選抜選手は代表1名など)

<教職員>

- 常態のレベルアップ。
- 学年間を超えてのつながり、行事等の引継ぎ。
- 学年、学校はひとつになっていけるようにしたい。
- チーム東中として、できていること、課題があることを整理してさらに連携していく。
- 教員間の密な情報交換。
- 分掌の適切効果的な配置。